

研究開発課題概要

移動端末を安全に管理できるスケーラブルな次世代イントラネット端末接続管理技術の研究開発

民間基盤技術研究促進制度平成18年度新規提案

受託者	株式会社サイバー・ソリューションズ
研究開発期間	平成18年12月～平成20年11月(2カ年)
研究代表者名	代表取締役社長 キニ グレン マンスフィールド
研究開発の概要	<p>情報漏洩、ウィルス感染などの多くは外部からの直接的な攻撃ではなく、ノートPC等の端末を経由している。そのため、情報の出入り口としての端末接続の管理が重視され、現状では持ち出し、移動の禁止等、本来の利便性を損なう運用を余儀なくされ、資産の有効利用と到来するモバイル時代の障害となっている。</p> <p>現在の技術は、端末が予め登録されたネットワークに接続することを前提とし、固定端末を想定している。しかし、人事異動、会議、部署横断業務等の現実の要求のために、現状でも実際には移動を必要とし、今後のモバイル時代を待つまでもなく、既に破綻の兆しをみせている。本研究開発では端末の移動、およびネットワーク構成の変更を前提にした安全な端末管理技術を確立する。</p>

問題は、イントラネット A を離れた移動端末 M_A に対して、マネージャ A はイントラネット B の許可なしにアクセス(図の ①)することはできず、マネージャ B は逆にマネージャ A の許可なしにアクセス(図の ②)できない。結果としてマネージャ A は M_A を管理できず、マネージャ B は M_A を受け入れるための判断ができないことである。

本研究開発は、この問題を解決し、移動端末 M_A の自己申告に依存することなく、 M_A を常に管理下におくためにマネージャ A-B 間の通信チャネル(図の ③)を確立し、常に外部からの管理を可能とする技術を研究開発する。